

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仙台デザイン専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 グラフィックデザインコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 WEBデザインコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 メディアイラストコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 絵師&コミックイラストコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 キャラクターデザインコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 まんがコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン学科 雑貨デザインコース	夜・通信	252 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://sds.ac.jp/information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台デザイン専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「学校法人北杜学園 令和4年度 事業報告書」 4、5ページ
<https://sds.ac.jp/assets/2023/img/information/pdf/2023Jigyohoukoku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前仙台市副市長	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	経営戦略の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台デザイン専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)作成過程 講義演習・実習それぞれの科目において、社会情勢や現代テクノロジーなど、常に「今」の状況に合った内容であるかの見直しと、習得するために十分な時間数及び計画であるかの確認を行いながら作成に当たる。 ・授業計画の作成・公表時期 前学年末(3月末)までに年間授業計画を作成し、カリキュラムに沿ったシラバスを作成する。学生への公開に当たっては、授業開始前の始業ガイダンスにて学生便覧の抜粋を明示しながら説明し、さらに各授業冒頭にて授業計画・到達目標・評価方法等を説明する。更に詳細はホームページにて公表するなど、本学生のみならず、広く世間一般に対して周知を促す。 	
授業計画書の公表方法	http://sds.ac.jp/information/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>(1) 講義・演習科目の評価について 原則、出席率70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。評価基準は以下の通りとする。</p> <p>①筆記試験・レポート等 ②学習意欲(受講態度等) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p> <p>(2) 実習科目の評価について 原則、出席率75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。</p> <p>①理解度 ②達成度(完成度) ③工夫度 ④発想力(アイデア) ⑤独創性(オリジナリティ) ⑥学習意欲(授業態度) ⑦出席状況(出席率75%以上)</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>評価の指標は以下の通り5段階とし、評定2以上を合格とする。</p> <p>5 : 100～90点 (大変よい) 4 : 89～75点 (よい) 3 : 74～60点 (ふつう) 2 : 59～45点 (努力を要す) 1 : 44～ 0点 (劣っている/不合格)</p> <p>学年ごとに成績分布状況を把握している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://sds.ac.jp/information/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 2年間の必修科目の合計受講時間数が1700時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://sds.ac.jp/information/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仙台デザイン専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	仙台デザイン専門学校ホームページ 「学校法人北杜学園 令和4年度 事業報告書」 貸借対照表：15 ページ、収支計算書：12 ページ、財産目録：18 ページ、 監事による監査報告書：19 ページ https://sds.ac.jp/assets/2023/img/information/pdf/2023Jigyouhoukoku.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 グラフィックデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,941 単位時間	75 単位時間	84 単位時間	3,072 単位時間		
			3,231 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		53 人	0 人	8 人の内数	15 人の内数	23 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 広告制作プロダクション等への就職を意識して、実習によりCGデザインや編集デザイン、イラストや色彩などの基礎知識や技術を習得する。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど、実践に即したデザインの流れを学修し、広告業界で幅広く活躍できるグラフィックデザイナー・アートディレクターを目指す。年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。
成績評価の基準・方法
（概要） (2) 講義・演習科目の評価について 原則、出席率70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。評価基準は以下の通りとする。 ①筆記試験・レポート等 ②学習意欲（受講態度等） ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。 (3) 実習科目の評価について 原則、出席率75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。

<p>①理解度 ②達成度（完成度） ③工夫度 ④発想力（アイデア） ⑤独創性（オリジナリティ） ⑥学習意欲（授業態度） ⑦出席状況（出席率75%以上） ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 概要) 卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。 (1)各科目の受講時間数 2年間の必修科目の合計受講時間数が1700時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者 (2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。 (1)各科目の受講時間数 年間の必修科目の合計受講時間数が800時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者 (2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。 精神的悩み等を抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	13人 (54.2%)	11人 (45.8%)
(主な就職、業界等) 印刷業界、広告業界、イベント企画			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustrator クリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	4人	7.5%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当者が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 WEBデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,908 単位時間	75 <small>単位時間</small>	93 <small>単位時間</small>	3,030 <small>単位時間</small>		
			3,198 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人の内数	27 人	0 人	8 人の内数	15 人の内数	23 人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) グラフィックデザインの基礎スキルをベースとし、さらにメディア表現としての Web デザインを習得する。実習によりホームページ作成ソフトの使用法や動画作成など、より高度なテクニックワークも学び、次世代型のデザイン能力を持った Web クリエイターを目指す。 年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。
成績評価の基準・方法
(概要) (1) 講義・演習科目の評価について 原則、出席率 70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。評価基準は以下の通りとする。 ①筆記試験・レポート等 ②学習意欲(受講態度等) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。 (2) 実習科目の評価について 原則、出席率 75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。 ①理解度 ②達成度(完成度) ③工夫度 ④発想力(アイデア) ⑤独創性(オリジナリティ) ⑥学習意欲(授業態度) ⑦出席状況(出席率 75%以上) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。 (1)各科目の受講時間数

<p>2年間の必修科目の合計受講時間数が1700時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 年間の必修科目の合計受講時間数が800時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(3)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。</p> <p>精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	13人 (72.2%)	5人 (27.8%)
(主な就職、業界等) WEB業界、デザイン業界、一般企業（企画広報）			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Webクリエイター能力認定試験（スタンダード・エキスパート）、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	2人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 メディアイラストコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,953 単位時間	45 単位時間	42 単位時間	3,156 単位時間		
			3,243 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人の内数	29 人	0 人	8 人の内数	15 人の内数	23 人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>グラフィックデザインに関する知識を学んだうえで、実習を通してイラストレーションの発想方法や技術を身につける。広告や雑誌編集業界でも幅広く活躍できる能力を養うために、イラストとデザインの調和を意識した学習で個々の学生の独創性を伸ばす。</p> <p>年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>(1)講義・演習科目の評価について</p> <p>原則、出席率 70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。評価基準は以下の通りとする。</p> <p>①筆記試験・レポート等 ②学習意欲（受講態度等）</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p> <p>(2)実習科目の評価について</p> <p>原則、出席率 75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。</p> <p>①理解度 ②達成度（完成度） ③工夫度 ④発想力（アイデア） ⑤独創性（オリジナリティ） ⑥学習意欲（授業態度） ⑦出席状況（出席率 75%以上）</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数</p> <p>2 年間の必修科目の合計受講時間数が 1700 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金</p> <p>学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数</p> <p>年間の必修科目の合計受講時間数が 800 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(4) 納付金</p> <p>学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>

学修支援等 (概要) 学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。 精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等) ゲーム制作、一般企業（サービス、販売）			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等） レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustrator クリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	2人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 絵師&コミックイラストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,953 単位時間	45 単位時間	42 単位時間	3,156 単位時間	3,243 単位時間	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人の内数	75人	0人	8人の内数	15人の内数	23人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要)</p> <p>実習を通してカードゲームやライトノベルの挿絵、Web 素材など、各種メディアにおいて需要が高まっているコミックスタイルのイラスト作成技術を習得する。オリジナリティのあるアートワークを追求し、イラスト絵師としてデビューを目指す。</p> <p>年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)講義・演習科目の評価について</p> <p>原則、出席率 70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。評価基準は以下の通りとする。</p> <p>①筆記試験・レポート等 ②学習意欲（受講態度等）</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p> <p>(2)実習科目の評価について</p> <p>原則、出席率 75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。</p> <p>①理解度 ②達成度（完成度） ③工夫度 ④発想力（アイデア） ⑤獨創性（オリジナリティ） ⑥学習意欲（授業態度） ⑦出席状況（出席率 75%以上）</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数</p> <p>2 年間の必修科目の合計受講時間数が 1700 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金</p> <p>学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数</p> <p>年間の必修科目の合計受講時間数が 800 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(5) 納付金</p> <p>学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。</p> <p>精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	14人 (41.2%)	20人 (58.8%)
(主な就職、業界等) ゲーム制作、写真スタジオ、一般企業（サービス、販売、製造）			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustrator クリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	5人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 キャラクターデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,953 単位時間	45 単位時間	42 単位時間	3,156 単位時間	3,243 単位時間	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人の内数	30人	0人	8人の内数	15人の内数	23人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 実習を通して各種ビジュアルにおける基礎描画トレーニングを経てキャラクターメーカーに必要な能力を幅広く学習する。目的に応じた魅力的なキャラクター制作を行うビジュアルクリエイターを目指す。 年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>(1)講義・演習科目の評価について 原則、出席率 70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。評価基準は以下の通りとする。 ①筆記試験・レポート等 ②学習意欲（受講態度等） ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p> <p>(2)実習科目の評価について 原則、出席率 75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価（再試験）する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。 ①理解度 ②達成度（完成度） ③工夫度 ④発想力（アイデア） ⑤独創性（オリジナリティ） ⑥学習意欲（授業態度） ⑦出席状況（出席率 75%以上） ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>
--

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 2年間の必修科目の合計受講時間数が 1700 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 年間の必修科目の合計受講時間数が 800 時間以上であり、講義系教科出席率 70%以上、実習系教科出席率 75%以上を受講した者</p> <p>(6) 納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
--

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。 精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	6人 (46.2%)	7人 (53.8%)
<p>(主な就職、業界等) 一般企業（サービス、販売、製造）</p>			
<p>(就職指導内容) 授業（就職指導 I, II）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面</p>			

接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。
(主な学修成果(資格・検定等)) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	2人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当者が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 まんがコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,953 単位時間	45 単位時間	42 単位時間	3,156 単位時間		
			3,243 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数		16人	0人	8人の内数	15人の内数	23人の内数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 実習を通してコミックアート作品制作に必要な不可欠な画法・構成・演出など様々な描画テクニックやアイデアワークを学び、人を惹きつける魅力的な作品を生み出すまんが家、コミックアーティストを目指す。 年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。
成績評価の基準・方法
(概要) (1)講義・演習科目の評価について 原則、出席率70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。表基準は以下の通りとする。 ①筆記試験・レポート等 ②学習意欲(受講態度等) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。 (2)実習科目の評価について 原則、出席率75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上

<p>評価（再試験）する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。</p> <p>①理解度 ②達成度（完成度） ③工夫度 ④発想力（アイデア） ⑤独創性（オリジナリティ） ⑥学習意欲（授業態度） ⑦出席状況（出席率75%以上）</p> <p>※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 2年間の必修科目の合計受講時間数が1700時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 年間の必修科目の合計受講時間数が800時間以上であり、講義系教科出席率70%、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(7) 納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。</p> <p>精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等) 一般企業			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	3人	16.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当者が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科 雑貨デザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,953 単位時間	45 単位時間	42 単位時間	3,156 単位時間		
			3,243 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人の内数	10人	0人	8人の内数	15人の内数	23人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 実習を通し、様々なビジュアル表現テクニックを身につける。素材の知識や制作技術をはじめ、世の中に幅広くアプローチするためのグッズプランニングなども習得し、グッズデザイナー、プランナー、雑貨作家を目指す。 年度初めに年間行事や授業計画表を作成し、教職員及び非常勤講師や学生に配布し周知している。
成績評価の基準・方法
(概要) (1)講義・演習科目の評価について 原則、出席率 70%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。評価基準は以下の通りとする。 ①筆記試験・レポート等 ②学習意欲(受講態度等) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。 (2)実習科目の評価について 原則、出席率 75%以上を評価の対象とし、下回る場合は補習にて不足分を補充の上評価(再試験)する。実習科目における課題は講義科目における筆記試験・レポートと同等のものである。したがって課題の未提出は試験放棄とみなし、再試験の対象となる。評価基準は以下の条件による。 ①理解度 ②達成度(完成度) ③工夫度 ④発想力(アイデア) ⑤独創性(オリジナリティ) ⑥学習意欲(授業態度) ⑦出席状況(出席率 75%) ※上記事項から総合的に判断し、評価する。なお、出席率 50%未満の科目は再履修となり、履修は認定されない。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 卒業については、以下の認定基準に基づき学年末に卒業認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 2年間の必修科目の合計受講時間数が1700時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(2)納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p> <p>進級については、以下の認定基準に基づき学年末に進級認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>(1)各科目の受講時間数 年間の必修科目の合計受講時間数が800時間以上であり、講義系教科出席率70%以上、実習系教科出席率75%以上を受講した者</p> <p>(8) 納付金 学校納付金を学園の定めた期間内に納入している者</p>
学修支援等
<p>(概要) 学生個々の目標に応じた個別指導や就職に役立つポートフォリオ作成指導・アドバイスを適宜実施している。 精神的悩みを抱える学生に対し、問題解決の一助として学生相談室を開設している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	2人 (22.2%)	7人 (77.8%)
(主な就職、業界等) 一般企業（雑貨販売）			
(就職指導内容) 授業（就職指導Ⅰ、Ⅱ）及び個別指導において、自己分析、進路相談、履歴書作成、面接指導を行っている。企業講話、OB講話、会社説明会等を学内で実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レタリング検定3級、色彩士検定3級、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、各担任、教科担当が学生及び保護者と連携し指導を行っている。定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告し面談等も実施している。 学生相談室を設け、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
グラフィックデザイン学科	160,000 円	860,000 円	30,000 円	その他 (交友会費)
修学支援 (任意記載事項)				
美術・デザイン分野指定校特待生制度、資格特待生制度、コンクール特待生制度、北杜園納付金延滞制度、北杜学園学費提携ローン				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://sds.ac.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価の評価結果について、学校と関係する印刷業界やデザイン業界で活躍されている学校関係者委員より「教育理念・目標、学校経営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献、地域貢献」各項目において、評価・ご意見等をいただき、改善を図ろうとするものである。 各委員から出された評価・意見等を今後の学校運営や学校教育の場で生かし、改善が必要な内容は内部で検討し、必要に応じて是正する等、有能な人材育成の一助とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
デザイン会社代表取締役社長	令和5年1月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
デザイン会社代表	令和5年1月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
大学副学長・教授	令和5年1月1日～ 令和6年3月31日	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://sds.ac.jp/information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://sds.ac.jp/information/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104391010081
学校名	仙台デザイン専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		50人	44人	50人
内訳	第Ⅰ区分	28人	26人	
	第Ⅱ区分	15人	16人	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				51人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	—
「警告」の区分に連続して該当		—	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	後半期
		0人	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下）		0人	0人
GPA等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		—	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。